

# テックドクターによる現地調査 (鹿児島県薩摩川内市中福良)

令和4年7月6日の降雨後、国道3号中福良地区において、土砂の流出及び法面ブロック張工背面の空洞化、切土法面上部の陥没が確認。降雨時に起因する地下水位の上昇に伴い、間隙水圧が増加することで地盤が不安定化し、法面崩壊の恐れがあることから、現地状況の詳細な把握及び対応策の検討のため、TEC-Doctorを派遣し現地調査及び助言等を頂いた。

**出席者:**鹿児島大学学術研究院 酒匂教授、鹿児島国道事務所

**開催日:**令和5年6月7日



## 【TEC-Doctorの見解】

- ・ブロック張工部については、最初は、路面排水施設（枡）から溢れた水で侵食が起きた可能性が高いと考えられる。
- ・その後、土嚢等で溢水は防がれているが、ここ数日のブロック張工部の土砂流出に関しては、路面からの流入する縦排水溝と枡の付け根にある亀裂より、水が漏水し、埋戻しされた部分が再度その水により侵食されたものと考えられる。
- ・その他の土砂流出についても、小段排水溝より溢れた水が表面水として法面に流れたことにより、流出したものと考えられる。
- ・亀裂部分の修復、小段排水溝の清掃（落ち葉や土砂）を実施した方がよいと思われる。
- ・ブロック張工部の陥没部の埋め戻しを行うことが必要である。
- ・小段排水溝の勾配が緩いため水が流れにくく、土砂や落ち葉等がたまりやすいため、縦排水溝を入れるなどして、小段排水溝からの溢水する可能性を減らす検討が必要であると考えられる。